

第4章

第2期札幌市教育アクションプラン(前期)

1 基本施策

基本的方向性1 一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進

基本的方向性2 学校・家庭・地域総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける機会の拡充

基本的方向性3 社会の変化に対応した教育環境の充実

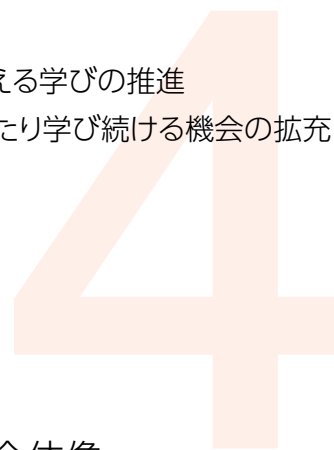
2 第1期計画の振り返りを踏まえた重点項目

重点1 共生社会を担う力の育成

重点2 誰一人取り残されない教育の推進

重点3 生涯にわたる健やかな体の育成

3 第2期札幌市教育アクションプラン(前期)の全体像



第5章

計画の推進と進行管理

1 進行管理

2 市民及び関係機関等との連携・協働

3 成果指標一覧



第4章

第2期札幌市教育アクションプラン(前期)

本章では、ビジョンで掲げた「札幌市の教育が目指す人間像」の実現に向け掲げた3つの「基本的方向性」に基づき、以下のとおり、今後5年間で取り組む12の教育施策と施策横断的に取り組む3つの重点項目からなるアクションプランを設定し、主な事業・取組を示しています。

教育アクションプラン(前期)の全体構成

基本的方向性	施策
1 一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進	1 主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進
	2 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進
	3 多様な教育的ニーズに応じた教育の充実
	4 誰もが安心して学びに向かうことができる支援の充実
2 学校・家庭・地域総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける機会の拡充	1 ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進
	2 家庭・地域の教育力向上を支援する取組の推進
	3 多様な地域資源を活用した豊かな学びや子どもの成長を支える取組の推進
	4 生涯にわたり学び、学んだ成果を生かすことのできる機会の充実
3 社会の変化に対応した教育環境の充実	1 安心・安全な教育環境の整備
	2 教育DX推進に向けた教育環境の整備
	3 子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の構築
	4 豊かな生活につながる学びの環境の充実

重点項目

重点1	共生社会を担う力の育成
重点2	誰一人取り残されない教育の推進
重点3	生涯にわたる健やかな体の育成

1 基本施策

基本的方向性1 一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進

施策1-1 主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進

夢を描き、実現しようとする意欲や、地域や社会の課題に対して解決に向かう意識等が醸成されるよう、主体的に考え行動する力を育む教育活動を推進します。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
自分の目標をもって生活している子どもの割合	—	80%
疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている子どもの割合	78.1%	85%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲
1	「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」の推進 重点1	「分かる・できる・楽しい授業」づくりに向け、各学校において、市全体の共通指標(子どもの自己評価)を含めた各種調査等の結果やこれまでの取組の成果や課題を分析し、「『学ぶ力』育成プログラム」を作成・実行し、検証改善サイクルの確立を図ります。あわせて、家庭や地域と一体となった取組を促進するために情報発信を充実させることを含め、これらの総合的な取組を「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」として位置付け、実行します。
		就学前教育 義務教育 高等学校教育 生涯学習
2	「札幌市教育研究推進事業」の推進	札幌市内の小・中学校等の教職員が学校や経験年数の枠を越えて集い、教職員相互の授業公開等を中心とした実践的な協働研究活動を通じ、それぞれの資質の向上に努め、子どもの「学ぶ力」の育成を図ります。
		就学前教育 義務教育 高等学校教育 生涯学習
3	「さっぽろっ子『健やかな体』の育成プラン」の推進 重点3	子どもの体力・運動能力を向上させるために、主に運動が苦手(嫌い)な子どもを対象とした取組の一層の充実を図ります。
		就学前教育 義務教育 高等学校教育 生涯学習
4	算数学び「beyond」プロジェクト事業	課題探究的な学習の充実の一環として、算数を窓口に学びのその先を考えたモデルをつくり、札幌市全体で子ども一人一人の主体性を大切にした多様な学びを実現していくことで、学習への意欲や論理的思考力を高めます。
		就学前教育 義務教育 高等学校教育 生涯学習

5	外国語教育の推進 重点1	札幌市英語教育改善プランに基づき、子どもが主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る資質・能力を育成します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
6	外国語指導助手(ALT)活用事業	外国語教育における児童生徒のコミュニケーション能力の育成と国際理解教育の一層の充実を図るため、市立小・中学校などに配置する外国語指導助手(ALT)の人数及び配置時間を増加します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
7	進路探究学習(キャリア教育)推進事業	中学校における進路探究学習(キャリア教育)を推進するため、民間企業等と連携し、様々な職業体験や出前講座等を実施します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
8	市立高等学校における進路探究学習の充実	今後の高校生活や将来の夢を生徒同士が語り合うなどし、自分らしい生き方を考えるきっかけづくりの機会として「進路探究セミナー」を実施します。また、自分の可能性を広げていけるよう大学の授業体験や、課題探究的な活動と組み合わせたキャリア探究の機会を充実させます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
9	中高接続の推進	中高の接続と6年間を見通した系統性・連続性のある教育を実践します。円滑な実施を推進するために、中高一貫した教育課程を編成している札幌開成中等教育学校における実践や新川地区の小中高の連携実践を他の中学校・高等学校に普及・啓発するとともに、中学生と高校生が交流できる機会を創ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
10	課題探究的な学習モデル推進事業 重点1	札幌開成中等教育学校における、国際バカロレア及びICTを活用した「課題探究的な学習モデル」をより一層発展させます。また、その成果を、他の市立学校と共有することで、全市立学校における「課題探究的な学習」の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
11	幼児教育の充実へ向けた市立幼稚園等における実践研究の推進	社会情勢の変化や今日的な課題に対応した実践研究を市立幼稚園等が行い、その成果を市内幼児教育施設や保護者、市民と共有することで、子どもたちが質の高い教育を受けることができるようにします。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
12	幼保小連携・接続の推進 重点1	主体的な遊びを通して学ぶ幼児期の教育活動から小学校以降の教育活動へ円滑に接続し、子どもたちが自己を発揮しながら学びに向かうことができるように、幼保小連携・接続の取組を一層推進していきます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

施策1-2 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進

しなやかさを育み、自分らしさを大切にするために、他者との関わりの中で、自他の尊重を基盤とし、豊かな人間性や社会性を育む教育活動を推進します。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
自分にはよいところがあると考えている子どもの割合	77.8%	90%
自分が必要とされていると感じている子どもの割合	61.6%	80%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲			
1	「人間尊重の教育」推進事業 重点1	「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を相互に関連させ、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりを推進し、人間尊重の意識の醸成を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
2	国際理解教育の推進	多文化共生社会を見据え、我が国の伝統と文化を大切に、世界の人々の多様な生活や文化を理解し尊重する態度を養うとともに、世界の平和に貢献し、国際社会で信頼と尊敬を得るにふさわしい資質を育成する国際理解教育を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
3	道徳教育の推進	子どもが互いを尊重し、支え合いながらよりよく生きようとする態度を育むとともに、「他者を思いやる心」、「生命を尊重する心」、「自然や美しいものに感動する心」等の豊かな心の育成を図るために、「特別の教科 道徳」を要として道徳教育を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
4	性に関する指導の充実	性に関する正しい知識や生命を尊重する態度等を育むため、産婦人科医師及び助産師を学校へ派遣する事業を実施するとともに、各学校において指導計画等を検証及び改善し、性に関する指導の充実を促す取組を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
5	交流及び共同学習の充実	特別支援学校に在籍する子どもが居住する地域の小・中学校の子どもとふれ合い、学び合うことを支援する地域学習を推進するとともに、特別支援学級を設置する小・中学校等において、障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学ぶ機会の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

6	読書チャレンジ・子どもの読書活動推進事業	子どもが読書の楽しさ、大切さを知る機会をつくるため、子どもの発達の段階に応じたイベント等を開催し、子どもの読書活動の普及啓発とともに、学びのきっかけや文化等の体験機会の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
7	野外教育総合推進事業 新規	生活に課題や不安を抱える子どもに日常とは異なる環境の中で体験活動の機会を提供し、自己肯定感や達成感等を育むとともに、野外教育を支える人材を養成し、体験活動の質の向上や新たな機会を創出します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
8	子どもを共感的に理解するための教員研修の充実	いじめ・自殺予防等子どもの心に寄り添い対応する力を高めるため、教職員がゲートキーパー ⁵⁴ としての資質・能力を身に付けることができるよう、子どもの心情や行動・言動等を共感的に理解するための研修等の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

施策1-3 多様な教育的ニーズに応じた教育の充実

様々な環境にある一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行い、可能性を最大限に伸ばし、豊かな生活を送ることができるよう、教育内容の充実を図ります。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子どものうち、個別の教育支援計画を支援に生かすことのできた子どもの割合	43.3%	80%
学びのサポーターとの連携等により、支援の充実を図ることのできた学校の割合	92.0%	100%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲	
1	通常の学級等における子どもの支援体制の充実 重点2	通常の学級において特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍する学校に、学びのサポーターを配置し、当該児童生徒に対する校内支援体制を整備します。また、肢体不自由のある児童生徒で、移動介助等を必要とする児童生徒が在籍する学校に、介助アシスタントを配置し、当該児童生徒に対する校内支援体制を整備します。	
		就学前教育	義務教育

54 ゲートキーパー：悩んでいる人に気付き、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ見守る人。

2	通級による指導・特別支援学級・特別支援学校の教育内容の充実	通級による指導、特別支援学級及び特別支援学校において、子ども一人一人の障がいの状態に応じた専門的な教育の一層の充実を図ります。また、特別支援学校のセンター的機能を効果的に発揮するために、特別支援学校の教職員の専門性の向上を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
3	特別支援教育に関する校内支援体制の充実 重点2	特別な教育的支援を必要とする子どもに適切な支援が行われるよう、各学校に対し、特別支援学校のセンター的機能により助言や援助を行うほか、特別支援教育巡回相談員が訪問して「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成や活用、見直しのサポートを行うことなどから、学校における支援体制の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
4	特別支援教育に関する私立幼稚園等への支援	幼児教育支援員が、私立幼稚園等を訪問し、特別な教育的支援を必要とする幼児への関わりや「個別の教育支援計画」の活用方法について私立幼稚園等の教諭等からの相談に応じるほか、特別支援教育に関する研修を実施します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
5	医療的ケア児への支援体制推進事業	市立学校に在籍する医療的ケア児の安心安全な学校生活を確保するため、支援が必要な全ての学校に看護師を配置します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
6	市立高等支援学校における就労支援体制の充実	市立高等支援学校の生徒の特性や希望に応じた企業就労等及び職場定着を促進するため、市立高等支援学校2校が連携した就労支援に係る教育を実施します。また、就労支援コーディネーターや民間企業、障がい者就業・生活相談支援事業所等と連携した就労支援の取組を進めます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
7	特別支援学級・通級指導教室整備事業	特別支援学級及び通級指導教室で学ぶ児童生徒が、できる限り身近な地域で学べる環境を整えるため、特別支援学級及び通級指導教室の整備・拡充を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
8	帰国・外国人児童生徒教育支援事業 重点2	日本語指導等が必要な帰国・外国人児童生徒が学校生活等に円滑に適応できるよう、個々の状況に応じた支援の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
9	市立札幌大通高等学校における支援の充実	市立札幌大通高等学校において、不登校経験や発達上の課題等を抱える生徒に対し、企業や関係団体等と連携による外部支援者の協力のもと、学習支援や就労支援、母語支援など個別のニーズに応じた支援を充実させます。また、札幌市をはじめ、「地域社会」で活動している人材・団体等の協力のもと、地域活動への参加などを通じて、生徒の自立性や社会性を育みます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
10	公立夜間中学運営事業	様々な事情により、学校に行かないまま中学を卒業した方や小・中学校での就学機会が得られなかった方などに対し、学びの場を提供します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

施策1-4 誰もが安心して学びに向かうことができる支援の充実

いじめや不登校などの未然防止、早期発見のために、積極的な生徒指導を実施していくとともに、教育相談支援体制の充実や教育に係る経済的負担を軽減するための支援を進めます。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
「自分が安心して学ぶことができている」と考えている子どもの割合	—	100%
先生や家族以外にも相談できる大人がいると考えている子どもの割合	—	90%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲			
1	不登校児童生徒のための新たな学びの場整備事業 新規 重点2	学校との相談や教育センター(学びの支援総合センター)での相談を受け止め、不登校児童生徒の困りに応じた支援の一つとして、学校以外の学びの場で人と関わりながら、自主学習や小集団による体験的な活動を行うための教育支援センターの機能を拡充し、子ども一人一人の状況改善や社会的自立へ向けた支援を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
2	相談支援パートナー事業 重点2	不登校やその心配のある子どもに対し、一人一人の状況に応じたきめ細かな支援を行うために、小・中学校に相談支援パートナー等を配置し、不登校の未然防止や状況改善、早期対応の充実に向けた取組を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
3	子どもに関わる相談体制の充実	問題を早期に発見するため、子どもや保護者が、いじめや人間関係、学習等に関する悩みを、24時間いつでも相談できる相談窓口を整備します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
4	地域での幼児教育相談・支援体制の推進事業	幼児の発達・教育など子育てに関する悩みを抱える保護者を対象として、幼児教育センターと研究実践園(市立幼稚園・認定こども園)において教育相談を実施します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
5	特別支援教育地域相談推進事業	教育センター教育相談室(学びの支援総合センター)において、発達の困りや不登校、日本語習得への困難さ等のある子どもの保護者からの相談や就学相談に係る業務に迅速かつ丁寧に対応できるように、特別支援教育に係る相談体制の充実に向けた取組を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

6	いじめの防止等のための対策の推進 重点2	子どもがいじめをしない態度や力を身に付けることができるよういじめの未然防止教育を進めるとともに、学校と家庭、地域、関係機関が連携し、いじめの早期発見・対処について取組の充実を図ります。	就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
7	命を大切にす指導・取組の推進	教職員が、一人一人の子どもの心身の変化の把握に努め、不安や悩みに寄り添って教育相談を行うほか、SOSの出し方教育などの自殺予防教育の推進や、関係機関等と連携した児童生徒の自殺予防に向けた取組の徹底を図ります。	就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
8	スクールカウンセラー活用事業 重点2	いじめや不登校などの不安や悩みを抱えている児童生徒やその保護者からの相談に対し、スクールカウンセラーによる専門的な支援を充実します。また、スクールカウンセラーが児童生徒への関わり方などについて教職員に助言等を行うことで、各校の相談対応力の向上を図ります。	就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
9	スクールソーシャルワーカー活用事業 重点2	いじめや不登校、児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラーなど、様々な問題を抱える児童生徒を取り巻く環境(家庭、学校等)に働きかけたり、関係機関等と連携するなどして問題解決にあたるスクールソーシャルワーカーによる支援を充実させます。	就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
10	義務教育児童生徒遠距離通学定期料金助成事業	通学区域設定等の関係から、やむを得ず交通機関によって通学している小・中学生の保護者の経済的な負担を軽減するため、通学に係る定期料金を全額助成します。	就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
11	札幌市高等学校等生徒通学交通費助成事業	札幌市内に居住し、公共交通機関を利用して石狩管内の高等学校等に通う生徒に、通学に要する交通費のうち基準額を超える額の1/2を助成します。	就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
12	経済的支援を必要とする家庭への就学援助	経済的な理由により就学が困難な小・中学生がいる保護者に、学用品費、給食費、修学旅行費、宿泊校外活動費及び、体育実技用具等の経済的援助を実施します。	就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
13	奨学金支給事業	意欲や能力があるにもかかわらず、経済的な理由によって修学困難な学生・生徒に、返済義務のない奨学金を支給します。	就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

トピックス

さっぽろっ子自治的活動の推進

さっぽろっ子自治的な活動は、子どもが「～したい」という意欲をもち、よりよい方法を考えて動き、集団づくりや社会への参画を通して、変化を生み出した喜びを手応えとして心に残すという主体的な活動です。令和4年度(2022年度)、札幌市内の小中学校に通う全ての子どもを集約し、全市共通の子どもの合言葉となる「さっぽろっ子宣言」をつくり上げました。この「さっぽろっ子宣言」は、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに向けて、各区の代表の中学生で構成する子ども運営委員会が、全ての小中学校の子どもから集めた意見を基に宣言案を作成し、再度案に対する全市の子どもの声を集約して決定したもので、「さっぽろっ子自治的な活動」の原点と成るものです。ポジティブ、ラブ、ユニーク、スマイルのアルファベットの頭文字をとると、「P」「L」「U」「S」の「プラス」となり、それらの思いを大切にできるよう、札幌のまちにまほうをかけるという意味も加えられたものです。「プラス(PLUS)のまほう」には、以下の二つの思いが込められています。



- ものごとを明るく前向きに考える「プラス」の思いを大切にしながら、人と人が関わり合うことによって、札幌のまちにプラスのまほうをかけましょう。
- 「まほうのかいわ」のように、「認める」ということを大切にして、さっぽろっ子一人一人が、自分もみんなも大切にして、笑顔があふれる学校をつくりましょう。

基本的方向性2 学校・家庭・地域総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける機会の拡充

施策2-1 ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進

豊かな自然や文化を継承し、それらを活用した学びの展開や市民と協働した活動を通じ、ふるさと札幌への誇りと愛着を醸成する教育活動を推進します。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
「札幌っていいな」と感じている子どもの割合	—	90%
振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがあると答えた子どもの割合	72.6%	90%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲			
1	「ふるさと札幌」を心にもつ学びの充実	札幌の自然環境・人的環境・文化的環境などの特色を生かした体験的な活動に取り組むとともに、札幌の歴史・文化・自然・環境・公共等への理解を深める学習を行うことにより、札幌の特色や魅力について学ぶ機会の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
2	【雪】に関する学習活動の推進 【札幌らしい特色ある学校教育】	札幌の大切な特色の一つであり、「札幌らしさ」を学ぶための貴重な資源である雪を通して、ふるさと札幌への思いを強め、雪に親しみ、雪と共生しようとする心を培います。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
3	【環境】に関する学習活動の推進 【札幌らしい特色ある学校教育】	「環境首都・札幌」宣言に基づき「さっぽろ地球環境憲章」を制定した札幌の市民として、四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代に伝え、地球と札幌のよりよい環境を創造しようとする心を培います。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
4	【読書】に関する学習活動の推進 【札幌らしい特色ある学校教育】	読書により言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするとともに、知的好奇心をふくらませ、一生涯にわたり学び続けようとする心を培うために、学校図書館司書や学校図書館ボランティアを派遣し、教育活動の様々な場面における学校図書館の活用を充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
5	文化・芸術体験を通じた情操を育む取組	美術鑑賞や制作体験、音楽鑑賞等の文化・芸術体験を通して、感性を育み豊かな情操を培います。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

6	オリンピック・パラリンピック教育の推進	冬季オリンピック大会が開催された札幌市において、オリンピック・パラリンピック教育を通して、スポーツの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等多面的な教育的価値をもつものであり、オリンピック開催の歴史と伝統を踏まえた指導の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
7	市立高等学校間連携・授業連携の推進	市立高校において、入学後の生徒の興味・関心の変化などに柔軟に対応し、より選択の幅の広い教育を提供できるよう、他の市立高等学校で行われる特色ある科目等の履修を可能するなど、学校間の連携を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

施策2-2 家庭・地域の教育力向上を支援する取組の推進

子どもたちの健やかな成長を支えるため、保護者の不安や悩みに寄り添う取組や、地域で学びふれあう機会の充実を図り、家庭・地域の教育力向上を支援する取組を推進します。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
家の人や地域の人に認められたり、支えられたりしていると感じることがある子どもの割合	—	90%
家庭教育事業への参加が、今後の家庭教育に役立てることができると感じた市民の割合	—	90%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲			
1	家庭教育事業	家族とのふれ合い等を通じて、子どもたちの生きる力の基礎的な資質や能力を育てる家庭教育の重要性を広く伝え、各家庭の教育力の向上を図るため、親同士が交流しながら学ぶ場や、講演会等の学習機会を提供します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
2	学校給食を活用した地産地消や家庭と連携した食育推進事業 重点3	第4次食育推進基本計画の「学校給食における地場産物を活用した取組を増やす」を受け、給食に地場産物を使用するとともに、フードリサイクル等も含めた指導を栄養教諭等が中心となって行い、子ども及び家庭への食育を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

3	生涯学習施設における体験学習の充実	青少年科学館や青少年山の家などの生涯学習関連施設において、自ら考えながら科学に触れたり、自然の中で家族や仲間とともに生活するなどの様々な体験学習の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
4	幼児期における家庭教育支援の充実	市立幼稚園等において、地域の幼児やその保護者等を対象に活動体験や子育てに関する講座などを実施します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
5	市立幼稚園預かり保育事業	市立幼稚園において、就労など様々な家庭の状況に対応した預かり保育を実施し、保育内容の充実や園と保護者が連携した子育ての在り方等について研究し、その成果を市内幼児教育施設や保護者等に発信します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

施策2-3 多様な地域資源を活用した豊かな学びや子どもの成長を支える取組の推進

多様な地域人材や様々な団体・機関との連携・協働により、体験活動をはじめとする豊かな学習機会を提供できるよう、地域資源を活用した学びや子どもの成長を支える取組を推進します。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
地域学校協働活動に参加している子どもの年間延べ参加者数	13,061人	53,000人
自分の学びや成長に学校以外の様々な人が関わっていると感じている子どもの割合	—	90%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲			
1	地域学校協働活動推進事業 重点1	子どもたちを対象に、地域の力を生かした多様な学びや体験機会を提供するとともに、活動を通じて地域と学校の持続可能な連携・協働の体制づくりを支援し、地域全体で子どもを育てる環境を醸成します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
2	コミュニティ・スクール推進事業 新規 重点1	家庭や地域と目標やビジョンを共有し、連続性、系統性を持ち、子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進めるため、学校運営協議会制度を導入します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

3	観察実験アシスタント配置事業	国の理科教育設備整備費等補助金の交付を受け、小学校に、学生、退職教員等の外部人材を観察実験アシスタントとして配置し、小学校の理科授業における観察、実験の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
4	学校部活動における外部人材の活用の推進 重点3	学校部活動の推進のため、単独又は顧問教諭と連携して部活動の指導に当たる外部人材の活用を進めます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
5	特別支援学級・特別支援学校における進路探究学習の充実	特別支援学級及び特別支援学校において、子ども一人一人が現在や将来に希望をもち、その実現を目指して生き方や進路について考えることができるよう、小学校段階では進路先となる中学校、特別支援学校及び地域の企業等と連携した学校見学や職業体験を推進するほか、中学校、高等学校段階において子どもの実態に応じた職場体験学習などの充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
6	市立高校における地域との連携・協働の強化	高校と地域をつなぐコーディネート機能の充実等により、市立高校各校と地域関係団体との連携・協働を強化した取組を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
7	地域人材を活用した学校図書館運営事業	子ども及び地域住民の読書活動の充実や、多世代交流による生涯学習機会の提供のほか、学校と地域の連携を推進するため、地域人材を活用して学校図書館を運営し、各種行事の企画・実施や教育支援活動、地域住民に向けた図書館開放を行います。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
8	学校図書館を支える人材の資質・能力の向上	学校図書館が学校や地域の読書活動の場としてより機能するため、学校図書館への支援を通して、本に親しむ環境づくりの充実を目指していきます。そのために、学校が必要とする支援内容を図書館が把握しながら、学校図書館に携わる学校司書や開放図書館ボランティア等を対象とした各種研修・講座を図書館と学校図書館が連携して実施し、学校図書館支援の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
9	札幌市青少年科学館における大学、企業等との連携 新規	企業や大学等の最新技術や研究成果の情報発信の機会を設けます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

施策2-4 生涯にわたり学び、学んだ成果を生かすことのできる機会の充実

生きがいを持って豊かな人生を送ることができるよう、誰もが生涯を通じて学び続けられる場の充実とともに、学んだ成果を生かすことのできる機会の充実を図ることにより、「学び」と「活用」の循環を支えます。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
生涯学習をしている市民の割合	76.2%	80%
これまでに学んだ成果を生かしているまたは今後生かしたいと考えている市民の割合	—	80%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲			
1	「さっぽろ市民カレッジ」の充実	市民に対し継続的かつ体系的な学習機会を提供する「さっぽろ市民カレッジ」において、生涯学習センター指定管理者が引き続き市民ニーズを捉えた多岐にわたる講座を展開するとともに、身近な施設で学べる講座や、学んだ成果をまちづくりや経済活動に生かす講座、オンラインやハイブリッド形式など新たな手法による講座を拡充していきます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
2	知的障がい者のための学びの応援事業	特別支援学校等を修了した知的障がいのある方が、社会で自立して生きるために必要となる力を身に付け、心身が充実した豊かな生活や、地域社会への参加を促進するため、多様な学びを提供する「成人学級」を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
3	図書館における講演会・図書展示等の充実	図書館において、文化人や専門家の講演会や、多種多様な図書展示などを行うことで、市民の生活や創造的な活動を支える「知の拠点」として、市民が生涯にわたり新たな文化と出会うことができる場を充実させます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
4	「札幌市図書・情報館」のサービスの充実	都心に集うビジネスパーソンを中心に、仕事の課題や悩み事を解決してもらえるよう、起業や経済、医療など、仕事や暮らしに関する資料・情報を提供しています。また、関係機関と連携した無料相談窓口による調査相談機能の更なる充実や、利用者が交流する機会を提供することで知的空間の一層の創出に努めます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

トピックス

ふるさと札幌のよさを生かした文化芸術体験

ハロー!ミュージアム(全小学校 5年生児童)

札幌芸術の森(札幌芸術の森美術館、札幌芸術の森野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ)や本郷新記念札幌彫刻美術館を訪れ、芸術作品の鑑賞やそれを踏まえた表現活動に取り組みます。美術館と学校が一体となって、学びの充実を図るとともに、子どもたちが文化芸術に触れる機会をつくり、豊かな感性や創造力を育みます。



Kitara ファースト・コンサート(全小学校 6年生児童)

札幌コンサートホールKitaraに行き、本格的なオーケストラ演奏を鑑賞することで、子どもたちの豊かな感性や創造性を育みます。オーケストラ作品としてオーソドックスな曲目が札幌交響楽団により演奏されるほか、Kitaraのシンボルであるパイプオルガンの演奏や、演奏家・指揮者に対するインタビューも行います。



このほか、希望する小学6年生を対象に、札幌コンサートホールKitaraでパシフィック・ミュージック・フェスティバル・オーケストラと、歌やリコーダーの演奏で共演する取組が行われています。

また、札幌文化芸術の劇場hitaruでは、希望する小学4年生を対象にニッセイ文化振興財団(日生劇場)による舞台公演の鑑賞や、希望する小学6年生を対象に劇団四季によるミュージカル公演を鑑賞する取組のほか、希望する中学2年生を対象に、総合芸術である「バレエ」を鑑賞する取組が行われています。

基本的方向性3 社会の変化に対応した教育環境の充実

施策3-1 安全・安心な教育環境の整備

安全教育と子どもの安全管理の推進を図るほか、教育を取り巻く環境変化を踏まえながら、子どもたちや市民が安心して充実した教育機会を得られるよう、一人一人や家庭、地域の状況に合わせた教育環境を整えます。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
自分の学ぶ環境は、安全面での配慮がされていると考えている子どもの割合	—	100%
市立園・学校におけるバリアフリートイレ ⁵⁵ の整備割合	63.4%	100%
普通教室等へ冷房設備を整備した市立園・学校の割合	0%	100%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲			
1	安全教育の充実	各園・学校・地域のリスクを踏まえ、実態に即した学校安全計画に基づき、避難訓練等の実効性のある取組を実施するとともに、子どもが自ら身を守ろうとする態度や、危険を予測し安全に行動するための能力を育む防災教育を行うなど、学校における安全教育の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
2	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	各学校から通学路に関する情報を収集し、関係機関等に安全対策等の実施を働きかけます。また、地域ぐるみで子どもの安全確保を図るため、市立幼稚園・小学校・特別支援学校を対象に、スクールガードリーダー及びスクールガードが登下校時の見守り活動等を行います。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
3	災害時における対応力の向上	災害発生時の被害を最小限にとどめ、迅速かつ的確に幼児児童生徒の安全を確保できるよう、「学校震災対応マニュアル」等を活用し、各園・学校における危機管理体制の充実を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

55 バリアフリートイレ：従来「多機能トイレ」と呼ばれていたものなど、高齢者や障がい者等の利用に適正な配慮は必要なトイレの総称。

4	給食提供における安全対策の充実	安全・安心の給食提供のために「札幌市学校給食衛生管理マニュアル」を周知徹底し、食材については各種検査を行います。また、食物アレルギーについては「学校給食における食物アレルギーの手引き」の周知に努め、手引きに基づいたアレルギー対応を進めます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
5	照明器具LED化改修の推進 新規	学校施設の省エネルギー化のため、照明器具のLED化改修を行います。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
6	バリアフリー化整備の推進 新規 重点2	すべての子どもたちが安心して学ぶことができる環境を整えるため、学校施設のバリアフリー化を推進し、段差解消やバリアフリートイレの整備、要配慮児童生徒等在籍校及び進学予定校へのエレベーターの整備を行います。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
7	義務教育学校関係事業 新規	「小中一貫した教育」の更なる推進を図るため、モデルとなる義務教育学校を設置します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
8	学校規模の適正化の推進	学校の小規模化による教育面や学校運営面の課題について、学校規模適正化の取組により解消することで、子どもたちにとってより良い教育環境を整えます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
9	計画的な学校施設の維持・更新	計画的な学校施設の維持・更新により、施設の老朽化対策及び機能向上を図り、教育環境の質的な改善を進めます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
10	学校施設冷房設備整備事業 新規	子どもが夏季期間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境を確保するため、学校施設に冷房設備を整備します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

施策3-2 教育DX推進に向けた教育環境の整備

ICTを活用して情報活用能力を育成するとともに、教育データを利活用しながら、様々な学びや支援へのニーズに対応する教育環境の整備を進めます。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
情報の正しい活用の仕方を考えて端末を使っている子どもの割合	—	90%
授業や校務にICTを効果的に活用できる教員の割合	81.9%	100%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲
1	ICTを活用した教育の推進(情報教育) 新規 重点1	「学ぶ力」の育成を目的に、ICTを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図りながら「課題探究的な学習」を推進するとともに、情報活用能力の育成を行います。各学校において、市全体の共通指標「ICTの活用についてのアンケート」の結果やこれまでの取組の成果や課題を分析し、「『学ぶ力』育成プログラム」を作成・実行し、検証改善サイクルの確立を図ります。
		就学前教育 義務教育 高等学校教育 生涯学習
2	ICT機器・デジタルコンテンツ等の整備	GIGAスクール構想にて整備した1人1台端末を活用した効果的な授業展開のため、ICT機器やデジタル教材等の整備を推進します。
		就学前教育 義務教育 高等学校教育 生涯学習
3	ICTを活用した校務支援の充実	校務の情報化及びICTの積極的な活用により、効率的な学校運営を推進します。
		就学前教育 義務教育 高等学校教育 生涯学習
4	学校におけるネットトラブル等対策の推進	各学校におけるネットトラブル等への対応力を高めるとともに、インターネット上の児童生徒等の不適切な書き込み等を早期に発見し対応できるよう、ネットパトロールを実施するほか、ネットトラブル等の発生時には、警察等の関係機関や専門業者と連携して支援を行います。
		就学前教育 義務教育 高等学校教育 生涯学習
5	緊急時における学校・家庭・地域の連携体制の構築	大規模な災害や新しい危機事象の発生時等に、学校から家庭に一齐にメール配信できるシステムを活用するほか、地域の防犯関係機関との情報共有を推進するなど、学校・家庭・地域・関係機関等が連携・協働して子どもの安全を確保する体制を構築します。
		就学前教育 義務教育 高等学校教育 生涯学習

施策3-3 子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の構築

デジタル化やグローバル化などの様々な環境変化に対応し、子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の充実を図ります。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
「教職経験に応じた研修」における学びの成果を生かして子どもの学びの充実を図っていると答えた教職員の割合	—	100%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲			
1	養成段階の教職志望者への研修等の推進 新規	市立高校生及び教員養成大学並びに教職課程を有する大学の学生を対象に、教職の魅力を発信するセミナーを、高校や大学との連携により実施し、教員の人材確保や養成段階からの資質の向上を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
2	幼児教育を支える人材の育成に向けた研修の充実	大学等と連携し、幼稚園教諭や保育士等の専門性や指導力を高める研修を実施するほか、教職員の経験に応じた研修を実施します。また、幼児教育施設や小学校等のニーズに応じて市立幼稚園教諭が訪問し、園・校内研修の協力をします。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
3	教員採用制度の充実	魅力あふれる教員を採用するため、人物重視の採用を一層充実するとともに、「現職教員及び臨時教員特別選考」などの特別選考を推進するなど、教員採用制度の充実を図ります。また、検査項目や内容等について、受検者の資質・能力及び適正を多面的に評価できるよう調査・研究を進めます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
4	教職経験に応じた研修の充実	新任教員が幅広い知見や実践的指導力を身に付けることができるよう初任段階における研修のほか、ミドルリーダーの育成を目指した中堅教諭等資質向上研修などの経験年数に応じた研修を充実させます。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
5	管理職研修の充実	園・学校の管理職のマネジメント能力等の向上を図るため、管理職や主幹教諭等への研修を実施します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

6	異校種間の人事交流の促進	幼児・児童・生徒の発達段階や成長を踏まえた教育活動の更なる充実を図るため、学校種をまたいだ人事異動を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
7	企業等への長期研修の推進	広い視野と柔軟な発想力をもつ教員を育成するとともに、その成果を各種研修等を活用して、市内の教員へ普及・啓発していくことを目的として、企業等への長期派遣研修の取組を推進します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
8	観察・実験を中心とした研修の充実	子どもの科学的リテラシー ⁵⁶ の育成に関する指導力向上を図るため、青少年科学館等の専門機関等と連携し、観察・実験を中心とした専門性の高い研修を行います。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
9	小学校における少人数学級の拡大	子ども一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の更なる充実に向け、35人学級を小学校全学年へ拡大します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

⁵⁶ 科学的リテラシー：自然界及び人間の活動によって起こる自然界の変化について理解し、意思決定するために、科学的知識を活用し、課題を明確にし、根拠に基づく結論を導き出す能力。

施策3-4 豊かな生活につながる学びの環境の充実

生涯を通じた主体的な学びを支援するため、健康で豊かな生活につながる学びや地域の課題解決にかかわる学びなど多様な学びが活発に行われる環境の充実を図ります。

● 成果指標 ●

成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)
自己の発育や健康に関心をもつ子どもの割合	—	100%
図書館の年間延べ来館者数	2,258,324人	3,000,000人
図書館の利用登録がある市民の割合	14.6%	25%

● 主な事業・取組 ●

	事業・取組名	内容・主な対象範囲			
1	学校保健の充実 重点3	学校保健安全法に基づき、各園・学校における学校環境衛生の維持、児童生徒等の健康診断及び感染症対策を推進する。また、各園・学校における保健教育・保健管理をより効果的に進めるため、関係機関と連携し、保健指導や健康相談に活用できる情報の収集や資料作成を行い、各園・学校への普及啓発を図ります。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
2	生涯学習関連施設の管理運営	生涯学習関連施設(生涯学習センター、青少年科学館、月寒公民館、市民ホール、青少年山の家、定山溪自然の村等)を円滑かつ効率的に運営し、市民の生涯学習活動を支援します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
3	図書館による情報提供の充実	図書館職員によるレファレンスサービスなどに加え、メールでのレファレンスサービスやデジタルライブラリーなどの非来館型サービスの充実を図り、利用者がより効果的・効率的に情報収集できるよう、分かりやすく、使いやすい情報の提供を行います。また、市民の課題解決を支援するため、レファレンスサービス等の更なるPRを実施します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
4	図書館DX検討事業 新規	図書館の情報基盤を整備し、利用者のサービスアップを図るほか、事務効率化の省力効果をレファレンス機能や地域展開に充て、地域の学びの拠点としての機能向上を図るため、図書館DXの具体的内容について検討します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

5	(仮称)さっぽろ読書・図書館プラン 2027策定	市民や子どもの読書活動への支援を総合的に進め、また、図書館を市民の生涯にわたる学びや創造的な活動の場とするため、図書館の運営やサービスの基本的な考え方を示す計画を策定します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習
6	電子図書館サービスの推進	障がい者や高齢者も利用しやすい電子図書館サービスの認知度及び魅力を向上させて利用促進を図ります。また、小中学生に対する利用を促進する取組を検討します。			
		就学前教育	義務教育	高等学校教育	生涯学習

トピックス

教職員の働き方改革

教職員が、子どもたちと向き合うためには、教員一人一人がワークライフバランス⁵⁷を整え、心身ともに健康であることが必要です。教育委員会と学校が一体となって業務の見直しを行い、ICT化の推進や、専門家や地域人材等の活用などを通して、教職員の働き方改革を推進します。教職員の負担軽減を進めることで、子どもたちと向き合う時間や教職員自身の学ぶ時間を確保し、学校における教育の質の向上を図ります。

● 関連事業・取組 ●

- ・ 地域学校協働活動推進事業 施策2-3
- ・ 観察実験アシスタント配置事業 施策2-3
- ・ 学校部活動における外部人材の活用の推進 施策2-3
- ・ ICTを活用した校務支援の充実 施策3-2

⁵⁷ ワークライフバランス：「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方。

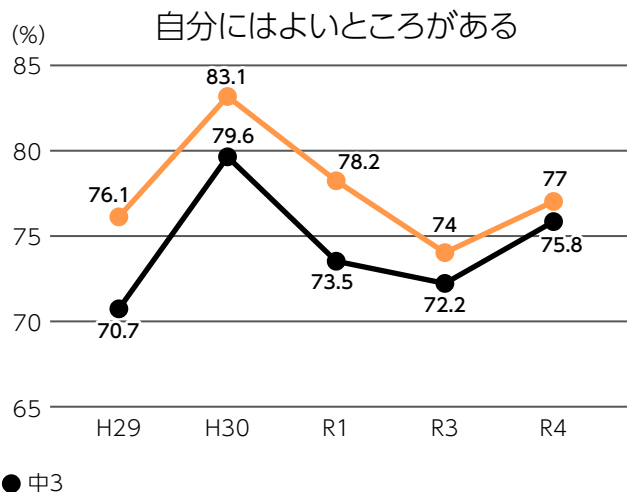
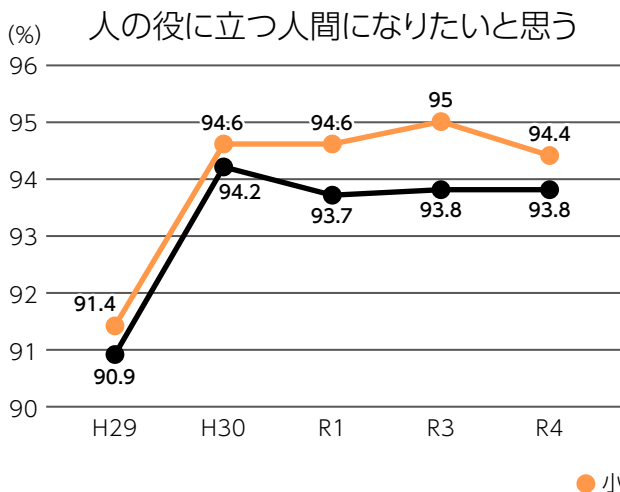
2 第1期計画の振り返りを踏まえた重点項目

第1期計画の成果課題を踏まえ、札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」の実現に向け、特に解決すべき3つの課題に対応する、重点的に取り組んでいく項目を設定しました。

課題1 他者を大切に思う気持ちなどに比べ、自分を認め、肯定する気持ちが、相対的に低い。今後求められる新たな価値を創造する力を育む土台として、自分のよさや可能性に気付く取組が必要。

小学校6年生と中学校3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の児童生徒質問紙調査のうち、「人の役に立つ人間になりたいと思う」の設問においては、肯定的な回答の割合が高い傾向にあります。一方、「自分にはよいところがある」の設問においては、肯定的な回答の割合が、令和4年度(2022年度)は若干の回復傾向にあるものの、引き続き子ども一人一人が自分のよさや可能性を自認していくことについては課題となっています。

また、小学校5年生と中学校2年生を対象とした札幌市全体の共通指標「学習などについてのアンケート」に同様の質問がありますが、こちらの結果についても、その傾向に変わりありません。



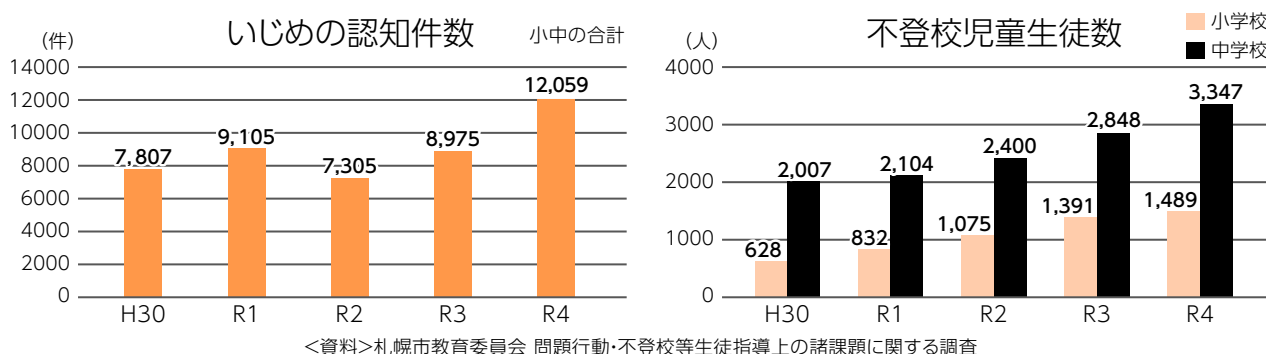
<資料>札幌市教育委員会 全国学力学習状況調査

調査項目	小5	中2
人の役に立つ人間になりたいと思う	93.3%	91.2%
人の役に立ててうれしいと感じることがある	91.9%	91.0%
友だちのよいところを見付けようとしている	87.9%	90.2%
自分にはよいところがある	79.5%	75.8%
自分が必要とされていると感じる	62.0%	61.1%

<資料>札幌市教育委員会 令和4年度札幌市全体の共通指標「学習などについてのアンケート」

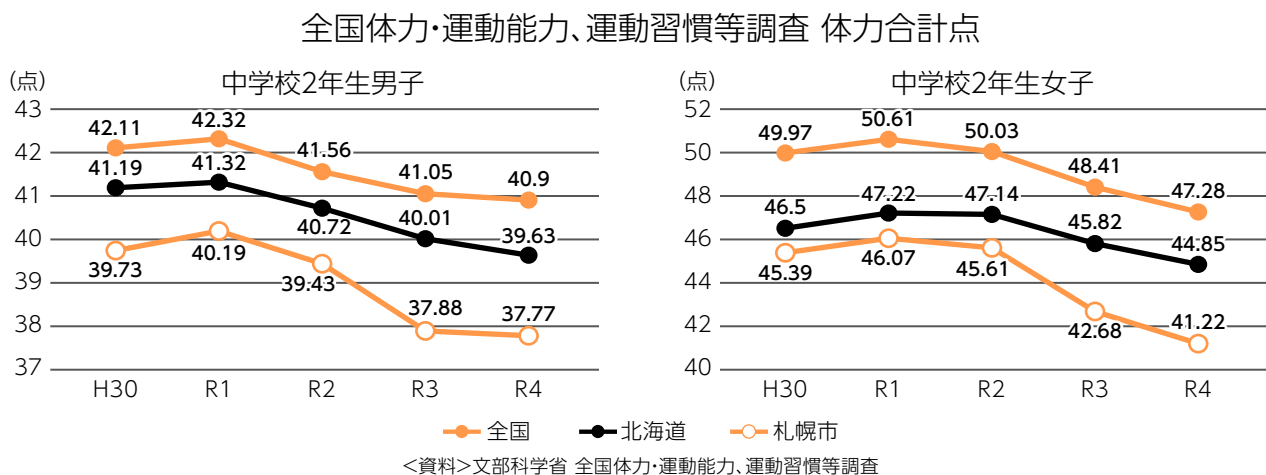
課題2 いじめの認知件数や不登校児童生徒数が増加傾向にあり、個々の状況に応じた支援が求められている。

いじめの認知件数は、いじめ防止対策推進法が施行されて以降、積極的な認知と早期対応への理解が広がり、増加傾向をたどっています。令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症拡大により、子どもたちの接触が減ったことの影響から減少していますが、令和3年度(2021年度)には再び増加に転じています。また、不登校児童生徒数は増加の一途をたどっており、ここ数年の増加は、コロナ禍での生活環境の変化や学校生活での様々な制限が影響し、登校する意欲がわきにくくなったのではないかと考えられます。



課題3 体力・運動能力については低下傾向が続いており、全国・北海道(札幌市を除く)との差が大きくなっている。

令和4年度(2022年度)の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、全国平均を上回っている種目⁵⁸はなく、その体力合計点では、男女とも低下傾向が続いています。特に女子においては、その差が大きくなっています。体力・運動能力の低下は将来の生活習慣病の発生病リスクを高めるだけでなく、健康寿命とも密接に関わりがあることが指摘されており、札幌市の子どもの体力の低下は、全国と同様の傾向ではあるものの喫緊の課題と言えます。



58：「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「持久走」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」の9種目を実施

重点1 共生社会を担う力の育成

他者と協働する機会を通し、他者の大切さを認めるとともに、自分の大切さを認めることで、自分のよさや可能性に気付き、主体的に取り組む態度や行動力などを身に付ける教育活動の充実を図ります。

さらに、グローバルな社会の中で、互いの個性や多様性を認め合い、多面的・多角的な思考を身に付けることで、共生社会の実現に向け新たな価値を創造する力を育みます。

● 主な事業・取組 ●

■ 「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」の推進 施策1-1

「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力等」の「学ぶ力」を育成するため、「学ぶ意欲(主体的に学習に取り組む態度)」「学んだ力(基礎的・基本的な知識及び技能)」「活かす力(思考力・判断力・表現力等)」の学力の3要素をバランスよく育む教育の充実を目指します。

■ 課題探究的な学習モデル推進事業 施策1-1

札幌開成中等教育学校における国際バカロレアの教育プログラムを活用した課題探究的な学習の手法を他の市立学校と共有し、札幌市全体でグローバル人材を育成します。

■ 外国語教育の推進 施策1-1

札幌市英語教育改善プランに基づき、子どもが主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、コミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指します。

■ 幼保小連携・接続の推進 施策1-1

幼児教育施設と小学校が互いの教育内容を理解し、それぞれの教育に生かすことによる子どもの学びの連続性の保障とそれを踏まえた指導内容等の工夫を行います。

■ 「人間尊重の教育」推進事業 施策1-2

全ての教育活動において、個性や多様性を認め合い、あらゆる偏見や差別をなくし、支え励まし合う人間関係の中で、心豊かにしなやかに生きようとする態度を育みます。

■ 地域学校協働活動推進事業 施策2-3

子どもたちを対象に、地域の力を生かした多様な学びや体験機会を提供するとともに、活動を通じて地域と学校の持続可能な連携・協働の体制づくりを支援し、地域全体で子どもを育てる環境を醸成します。

■ コミュニティ・スクール推進事業 施策2-3

家庭や地域と目標やビジョンを共有し、連続性、系統性をもち、子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進めるため、学校運営協議会制度を導入します。

■ ICTを活用した教育の推進(情報教育) 施策3-2

ICTを活用した教育を推進し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図りながら「課題探究的な学習」を推進するとともに、ICTの特性・強みを生かした学習の過程の充実を通して、情報活用能力の育成を図ります。

重点2 誰一人取り残されない教育の推進

すべての子どもの個性を尊重し、多様な教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進め、どの子ども自らの可能性を発揮しながら学び育つことのできる教育活動の充実を図ります。

また、いじめや不登校等の様々な子どもの困りや課題に真摯に向き合い、誰もが安心して学びに向かうことのできる教育環境の実現を目指します。

● 主な事業・取組 ●

■ 通常の学級等における子どもの支援体制の充実 施策1-3

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活上の必要な支援を行うなど多様な教育的ニーズに応じた校内の支援体制の充実を図り、誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会の実現を目指します。

■ 特別支援教育に関する校内支援体制の充実 施策1-3

子ども一人一人が、障がいの状態や個別の教育的ニーズ等に応じた専門的な教育的支援を受けることができるよう、各学校における支援体制の充実を図るとともに、障がいのある子どもの自立と社会参加を目指し、適切な合理的配慮の提供を行うことなどから学習活動の充実を図ります。

■ 帰国・外国人児童生徒教育支援事業 施策1-3

日本語指導等が必要な帰国・外国人児童生徒に対する指導の充実を図るため、指導協力者の派遣による教育支援を行うことで、支援対象児童生徒が学校生活等に円滑に適応できるようにします。

■ 不登校児童生徒のための新たな学びの場整備事業 施策1-4

学校へ登校することが難しい不登校児童生徒の社会的自立へ向けた状況の改善を図るため、教育支援センターにおける支援体制を拡充し、子ども一人一人の状況に応じたきめ細やかな支援を行います。

■ 相談支援パートナー事業 施策1-4

不登校やその心配のある子どもに対し、一人一人の状況に応じたきめ細かな支援を行うために、小・中学校に相談支援パートナー等を配置し、不登校の未然防止や状況改善、早期対応の充実に向けた取組を推進します。

■ いじめの防止等のための対策の推進 施策1-4

「いじめ防止対策推進法」及び「札幌市いじめ防止等のための基本的な方針」に基づくいじめの未然防止・早期発見・対処を徹底し、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう取組の充実を図ります。

■ スクールカウンセラー活用事業 施策1-4

心理の専門家であるスクールカウンセラーを配置することにより学校の教育相談体制の充実を図り、いじめや不登校など様々な不安や悩みを抱えた子どもや保護者を支援します。

■ スクールソーシャルワーカー活用事業 施策1-4

スクールソーシャルワーカーを活用し、児童生徒が置かれた様々な環境へ働きかけ、関係機関等とのネットワークを構築するなどの多様な支援方法を用いて、問題の解決に当たります。

■ バリアフリー化整備の推進 施策3-1

すべての子どもたちが安心して学ぶことができる環境を整えるため、学校施設のバリアフリー化を推進し、段差解消やバリアフリースイールの整備、要配慮児童生徒等在籍校及び進学予定校へのエレベーターの整備を行います。

重点3 生涯にわたる健やかな体の育成

子どもの頃から主体的に運動する習慣が身に付くよう「運動の楽しさ」にふれることを重視した教育を推進するなど、生涯にわたって、健康で豊かな生活を送ることができるよう、自ら健康を保持増進しようとする態度の育成や、体力向上に向けた運動習慣を身に付けるための取組を進めます。

● 主な事業・取組 ●

■ 「さっぽろ子『健やかな体』の育成プラン」の推進 施策1-1

子どもの体力・運動能力の向上を目指し、学校における体育・健康に関する指導の充実を図ります。特に、運動に苦手意識をもっている子どもが、運動の楽しさや喜びに触れ、意欲的に運動に取り組む機会の充実を図ります。

■ 学校給食を活用した地産地消や家庭と連携した食育推進事業 施策2-2

第4次食育推進基本計画の「学校給食における地場産物を活用した取組を増やす」を受け、取組回数を目標値に近づくようにします。健康寿命の延伸の観点から、給食に地場産物を使用するとともに、フードリサイクル等も含めた食育を栄養教諭等が中心となって推進します。

■ 学校部活動における外部人材の活用の推進 施策2-3

中学校・高等学校における学校部活動の一層の推進を図ります。
高等学校の部活動における外部人材の活用について検討を進めます。

■ 学校保健の充実 施策3-4

学校環境衛生を維持するとともに、学校における児童生徒等の健康の保持増進を図ることにより、学校教育を円滑に実施することを目的に進めます。

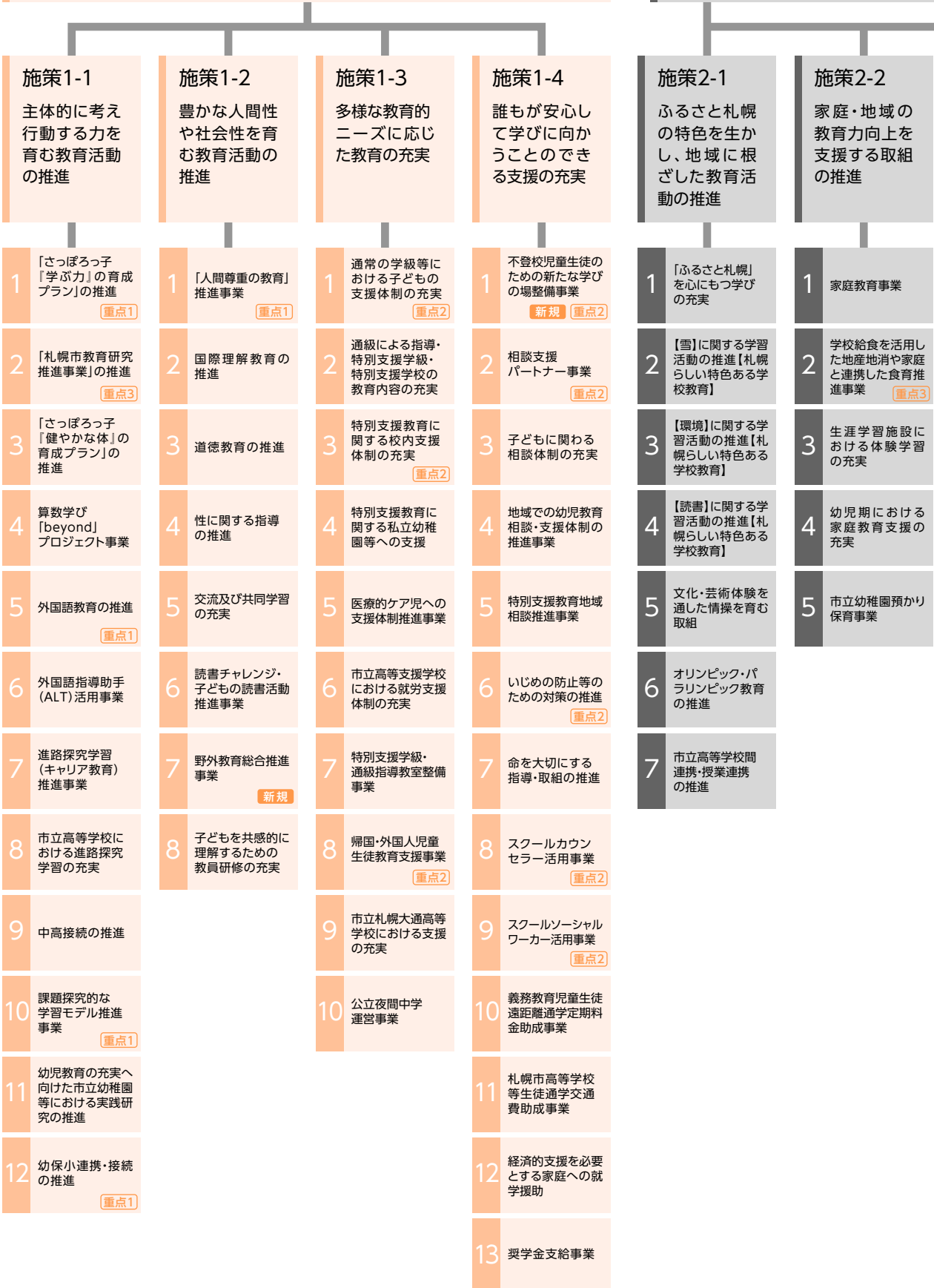
3 第2期札幌市教育アクションプラン(前期)の全体像

基本的方向性1

一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進

基本的方向性2

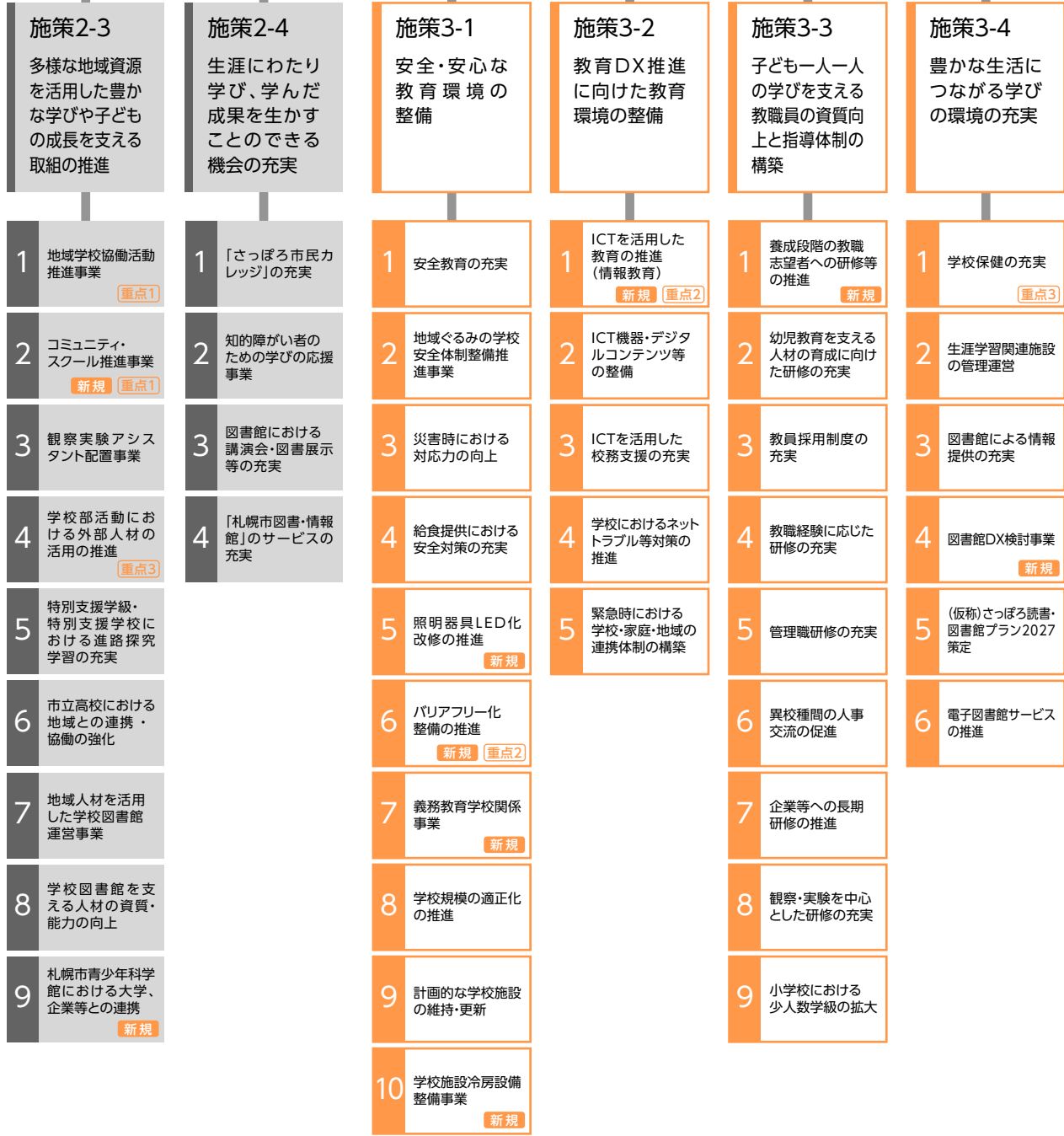
学校・家庭・地域総ぐるみ生涯にわたり



で育み、 学び続ける機会の拡充

基本的方向性3

社会の変化に対応した教育環境の充実



第2期札幌市教育アクションプラン(前期)では、特に3つの項目に重点的に取り組みます。

- 重点1** 共生社会を担う力の育成
- 重点2** 誰一人取り残されない教育の推進
- 重点3** 生涯にわたる健やかな体の育成

※重点的に取り組む主な事業・取組に、**重点**と記載